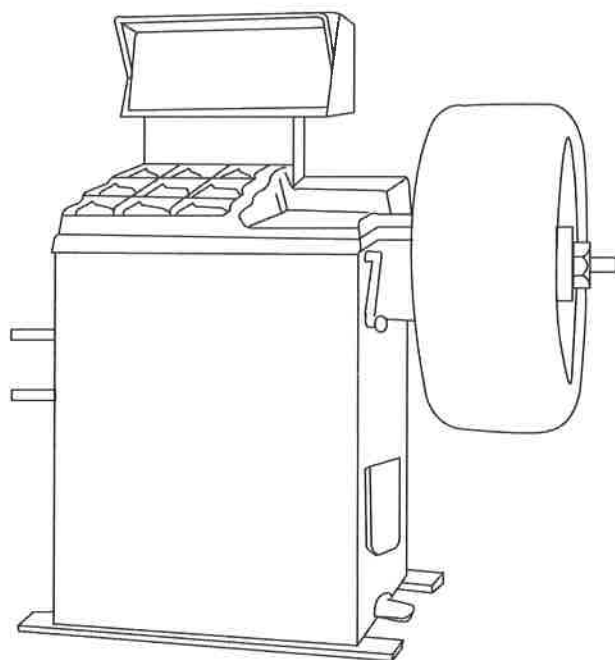


取 扱 説 明 書

COMPUTER WHEEL BALANCER ダイナマックス DX-7051WAS型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



注 意

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベルの貼り付け位置、内容	3
(2) 危険、注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1) 本体部の名称	7
(2) 操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1) ホイールの装着手順	9
(2) モードの切り替え	10
(3) 測定手順	9
(4) L Tホイールの測定方法	12
(5) オアダプターキャンセル機能の使い方	12
(6) g カットの切り替え方法	12
6. 標準付属品・特別付属品	13
7. 定期点検	14
(1) 定期点検	14
(2) 消耗品	14
8. 故障と処置	14
9. 仕様	15
10. 製品保証規定	16
(1) 保証規定	16
(2) 保証請求方法	16
(3) アフターサービスについて	17
(4) 設置(据付)及び移設について	17

1. まえがき

この度は弊社の**ホイール balanser**をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機
の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分
なご理解のうえ正しくご使用ください。

また、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き万一紛失、汚損された場合は、速
やかに購入のうえ、正しく保管、貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balanser は普通乗用車のホイールバランスを測定、修正することの出来るホイー
ル balanser です。

尚オプション部品を取り付けることによって、ライトトラックのホイールバランスの測定、修
正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危険……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警告……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



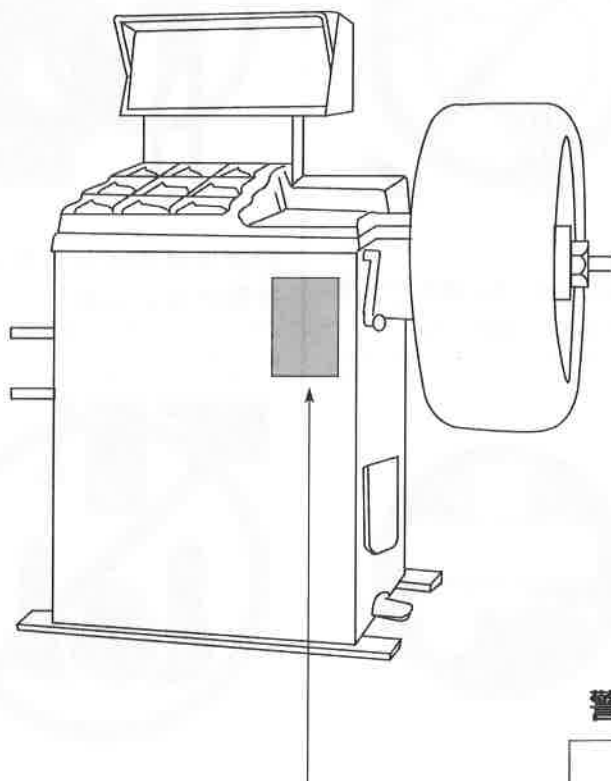
注意……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告ラベル貼付位置・内容



注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。



警告ラベル貼付位置

警 告	
回転中のホイールに置れたり、手で止めようとしないうこと。 事故を招く恐れがあります。	回転中はホイールガードを回さないこと。 小さな、大きな怪我を招く恐れがあります。
ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	ホイールの正面に立たないこと。 小さな、大きな怪我を招く恐れがあります。
取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により、重大な事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバランサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を食う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

警告ラベル内容

下記警告ラベルが本体に貼付されています。

 警 告	
	 回転中はホイールガードを開けないこと 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること 誤操作により、思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバランサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにSTOPスイッチを押し直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩くんでいるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウエイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等はすべて取り除いてください。
- (6)スタートボタンを押す前に必ずホイールガードをセットしてください。
- (7)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は水洗いを絶対にしないでください。
- (9)本機を移動する場合は主軸をもって移動したり衝撃を主軸に与えないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。

元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。

※死亡または重傷の可能性あります。



(3)一般的な注意事項

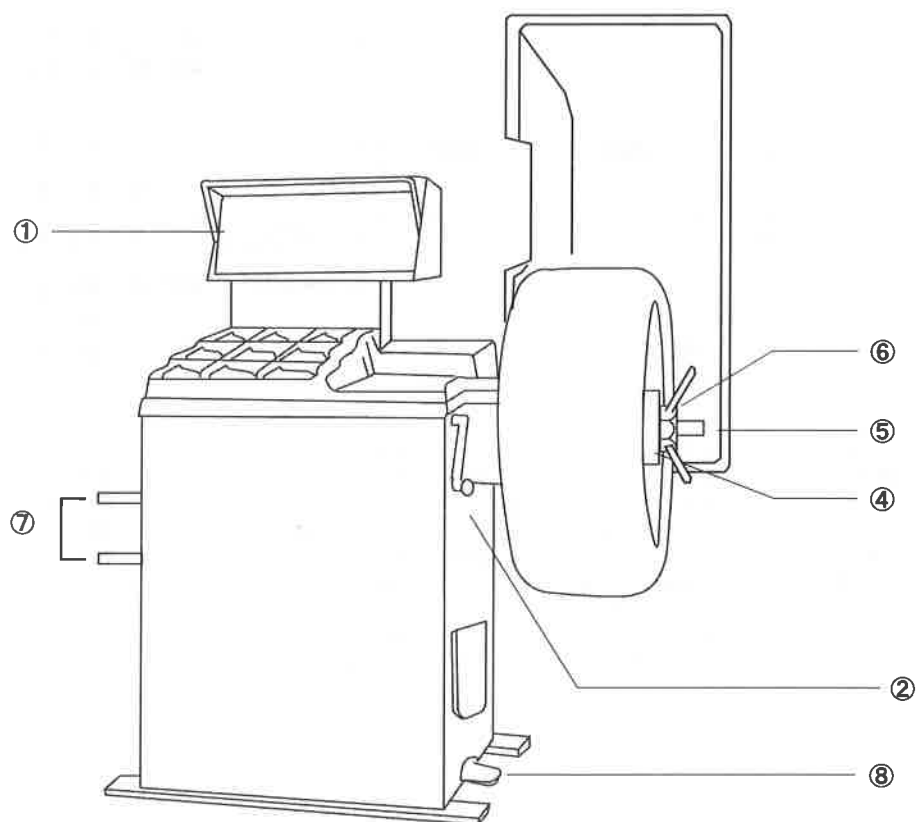
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時はホイールバランサーの使用を禁止して電源を切りお買上の販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据え付けは平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルト4本でしっかりと固定して使用してください。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸をもって移動したり衝撃を主軸に与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤3相200Vの配線工事は必ず動力工事有資格店にご依頼ください。
電源は本機の近くに必ず1.5kW以上の専用ブレーカを設置してそこから配線してください。
又本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。

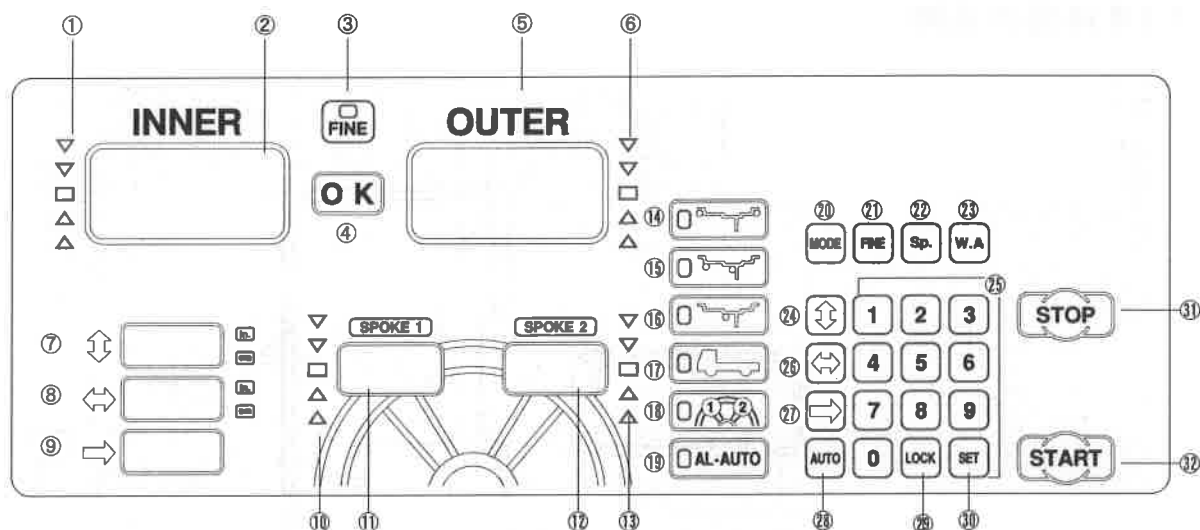
4. 各部の名称

(1) 本体部の名称



- ①操作部
- ②ディスタンススケール
- ③ホイールガード
- ④カップ
- ⑤センター軸
- ⑥ワンタッチナット
- ⑦部品掛け
- ⑧オートロック用ペダル

(2)操作部の名称



①イン側ポジション表示
②イン側グラム表示
③ファインLED
④OK表示
⑤アウト側グラム表示
⑥アウト側ポジション表示
⑦リム径表示
⑧リム幅表示

⑨ディスタンス表示
⑩SPOKE 1 ポジション表示
⑪SPOKE 1 グラム表示
⑫SPOKE 2 グラム表示
⑬SPOKE 2 ポジション表示
⑭両面打込みモード
⑮アルミ内貼りモード
⑯スタチックモード
⑰ライトトラックモード

⑱WASモード
⑲アルミオートモード
⑳モードスイッチ
㉑ファインスイッチ
㉒スペシャルスイッチ
㉓WASスイッチ
㉔リム径スイッチ
㉕数字スイッチ
㉖リム幅スイッチ

㉗ディスタンススイッチ
㉘アルミオートスイッチ
㉙ロックスイッチ
㉚セットスイッチ
㉛ストップスイッチ
㉜スタートスイッチ

5. 操作手順

(1) スクリーンセイバー(タイヤが動き回る画面)について

電源を入れて10分以上バルンサーを使用しないでいると画面はタイヤが動き回る画面に変わります。これは、モニター画面の焼き付きを防止するためのものです。C(キャンセルスイッチ)スイッチを押すと操作画面に変わります。

(2) ホイールの装着手順



注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いて下さい。

ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けて下さい。

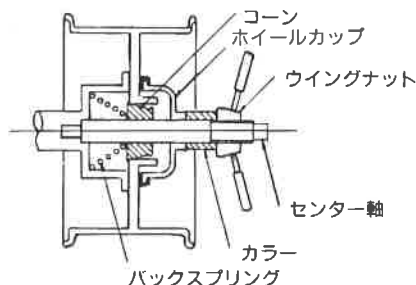
オートロックタイスの場合、タイヤをバルンサーに装着する前に先端軸が前に出ているか確認して下さい。軸が引っ込んでいる場合はオートロックペダル踏み軸を前にだして下さい。

(A) バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングと、ホイールのハブ穴に合ったコーンを入れ、ホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットをはめオートロックペダルを踏みホイールを締め付けます。

この時コーンが奥まで入り込むような場合は ①バックコーンとして使用する場合
バックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用して下さい。

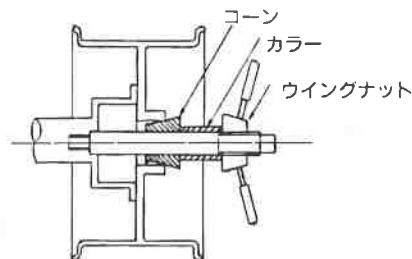
(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします。)



(B) フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットをはめオートロックペダルを踏みホイールを締め付けます。オートタイプでない場合はワンタッチナットを締め付けて下さい。

②フロントコーンとして使用する場合

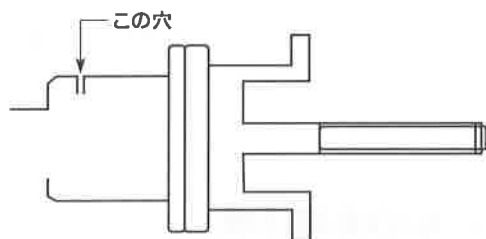


タイヤをはずす時はオートロックペダルを踏みロックを解除してワンタッチナットをはずしタイヤをはずします。



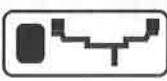
注 意

2月に1度程度、図の部分の穴にタービン油を2～3cc注油してください。



(3)モード切り替え

MODE ボタンを押すと①—②—③—④—⑤—①の順にモードが選択されます。

- ①  画面打ち込み
- ②  アルミ貼付け
- ③  スタチックモード(MCなど)
- ④  LTモード(ライトトラック)

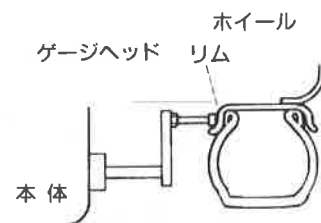
(4)測定手順

1. ディスタンス(出寸法)・直径の測定

ゲージヘッドを図のようにリムに当てるだけで、ピーという音と共に入力されます。なお、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも、動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合はゲージを戻してから再度セットしてください。

(約1秒間停止しているとセットされます)

ディスタンスゲージがセットされたら、ゲージを確実に元に戻してください。(戻らない場合は **IN** 側に **E-E** と表示してスタートしません)



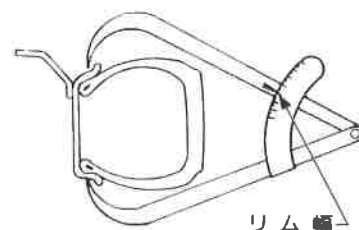
2. 手動入力の場合

- リム幅ゲージを図のように、イン・アウト両側に当て、ゲージの幅を読みとり、たとえば4.5Jの場合

 **4** **5** **SET** と入力してください。

- リム径の設定

たとえば13インチの場合  **1** **3** **0** **SET** と入



力してください。

3. アルミホイールの内面取りの場合

●自動入力モード

(A)ディスタンススケールを内側の打ち込み位置、もしくは貼り付け位置の中にスケールをあて入力します。

(B)スケールを戻した後、**AUTO** スイッチを押します。**MODE** 表示が **AL-AUTO** に変わります。つぎに、外側のウエイト貼り付け位置の中心にスケールをあて入力させます。

 表示にcmで表示されます。入力が終わったらスケールを戻してください。

つぎに、スタートスイッチを押して測定してください。そして、指示されたとおりにウエイトを打ち込み、もしくは貼り付けてください。

(**C** ボタンを押すと **AL-AUTO** モードは解除されます。)

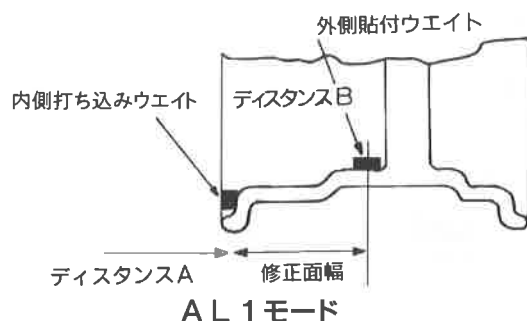


注 意

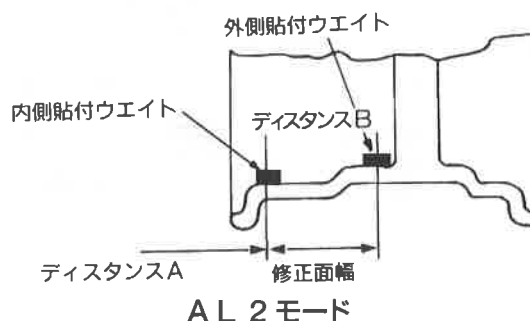
ホイールが深くスケールアウト側入力位置まで十分に届かないときは届くところまでスケールを引き出して、入力した後スケールを戻し、次に修正面幅を物差しで測った値をcmで入力して下さい。(たとえば修正面幅が14.5cmならばリム幅入力スイッチを押しキー画面を出し **1****4****5****SET** と押して下さい。)
MODE スイッチを押すとアルミ内張りモードは解除されます。

●手動入力モード

【例1】



【例2】



例1の場合(内側打ち込み、外側貼付け)



モードを選択して例1の修正面幅間を定規で測定して、 入力を〇〇cmで入力してください。たとえば12cmならば **1****2****0****SET** と入力してください。

例2の場合



モードを選択して、修正面幅間を定規で測り  入力を〇〇cmで入力してください。たとえば11.5cmならば  **1****1****5****SET** と入力してください。

4. 測定

スタートボタンを軽く2度押します。

タイヤが回転して約8秒でアンバランス量とポジションが表示され、自動停止します。

5. ウェイトの取付け

タイヤを手で回してアンバランスポイントを真上に合わせます。

その時 **LOCK** スイッチを押せば、約10秒間ブレーキがかかります。ブレーキが解除した後も、再度 **LOCK** スイッチを押せば約10秒間ブレーキがかかります。

(注) WAS モードの時はロックはかかりません。

6. 修正結果の確認

ウェイト取付け作業が終了した後、再度スタートボタンを押しチェックします。

バランス修正がOKならば **OK** と表示されます。1度でOKしない場合は表示に従ってウェイト取付けを再度行ってください。

7. ファインスイッチ

OKした場合でも、若干のアンバランスが残留しています。**FINE** ボタンを押すことによって7g以下にアンバランス量が表示されます。またこの **FINE** ボタンによってgが1g単位に表示が変わります。

再度 **FINE** ボタンを押すと通常状態になります。

(5) WASの使い方

WASはスポークホイールのバランス修正時、ウェイトが外側から見え、ホイールの美観を損なう場合WAS機能でウェイトを2本のスポークの裏側に分割して貼付けることです。

①アルミホイールの貼付けモードで測定した結果、アウト側の貼付けるグラムの位置がスポークの裏側でない時に **WAS** スイッチを押すと WAS モードの LED が点灯して SPOKE1 表示(タイヤ幅表示)が A-1 となります。

② OUT 側のアンバランス位置に一番近い位置のスポークの二カ所の内のどちらかのスポーク位置を真上にして **SET** スイッチを押して下さい。

③ **SET** スイッチを押すと SPOKE1 表示が A-2 となります。

次にもう一カ所のスポーク位置を真上にして **SET** スイッチを押して下さい。



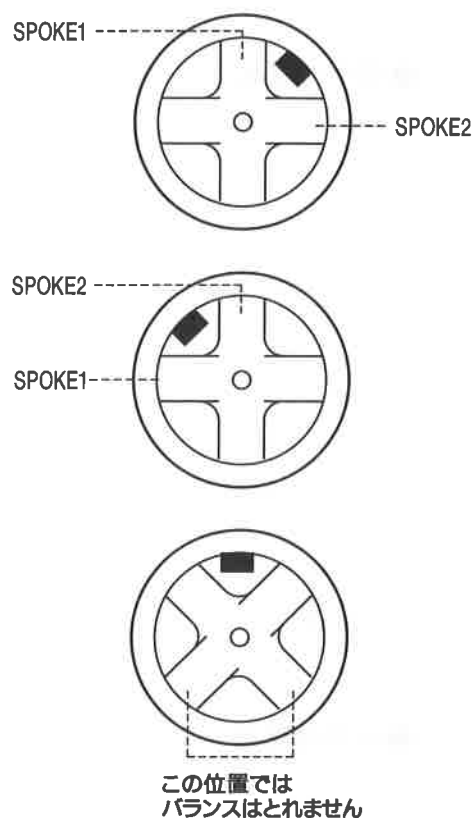
注 意

②・③の時アウト側に表示されているアウト側ポジション表示はウェイト分割前のアウトのアンバランス位置です。

- ④ **SET** スイッチを押すと **SPOKE1** 表示(タイヤ幅側表示)に先にセットされた対置に貼付けるグラムが表示されます。
- また貼付けるスポーク位置の真上に来るとグラム点滅とブザー音がします。
- 二カ所のスポークの裏側と IN 側のグラムの貼付けを終えたら **START** スイッチを二度押して結果を測定してください。(**START** スイッチを押すことによって **WAS** モードは解除されます)

注意

途中で **WAS** モードを解除したいときは **WAS** スイッチを押して下さい。



(6) L T タイヤの測定方法

アダプターの使用方法是、アダプターに付属の取扱説明をお読みください。

L T タイヤの場合



モードを左に選択して測定してください。

(7) アダスターキャンセル機能の使い方

L T コーン、MC アタッチメント等を使用する場合、取付け誤差を取りのぞく機能として、アダプターキャンセルが付いています。

SP SET と押すと、イン側に **F-1** と表示されます。

L T コーンなどのアダプターを、取付けスタートボタンを押し回転させますと、取付け誤差がコンピューターに記憶されます。

アダプター使用時はこの操作を行ってから使用してください。

アダプターを使わない時は、電源を切って使用してください。

6. 標準付属品・特別付属品

●標準付属品

- ①コーンS.M.L.L.L.3L
- ②カップ
- ③バックスプリング
- ④カラーC1.C2.C3
- ⑤ワンタッチナット
- ⑥センター軸
- ⑦タイヤパス
- ⑧ウエイトプライヤー
- ⑨アンカーボルト
- ⑩センター軸締め付けボルト(3本)
- ⑪締め付けレンチ
- ⑫取扱説明書
- ⑬保証書

●特別付属品

- A. フランジアアダプターセット
 - ①4穴フランジアアダプター
 - ②3.5穴フランジアアダプター
 - ③フランジボルト
 - ④セットスタンド
- C. LTコーン
- D. ホイールガード

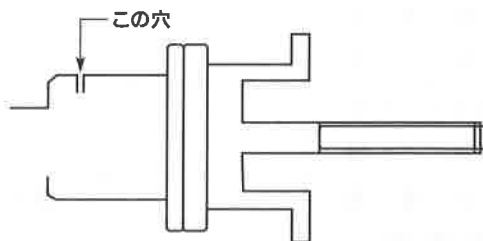
7. 定期点検

(1) 定期点検



注 意

2月に1度程度、図の部分の穴にタービン油を2～3cc注油してください。



(2) 消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・摩耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト5M-2-1250		1	1 / 1 台
ブッシュ	CLB-303830	1	2 / 1 台(約2年)

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない。	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く

その他の症状について

(1) バランスの修正ミス(イン・アウトの修正位置が逆になっているとか修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(50gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの打ち込み位置のそれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

9.仕様

型 式	7051WAS	7051WAS-B	7051WAS-SB
電 源	200 V 3相	200 V 3相	100 V 単相
モ ー タ ー	0.75 k W	0.75 k W 防爆	0.4 k W 防爆
回 転 速 度	約360 r p m		
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定		
適用ホイール径	10"～24"		
適用ホイール幅	2"～15"		
測 定 重 量	最大75kg		最大40kg
測 定 範 囲 g	0～500 g		
本 体 重 量	150kg	155kg	160kg

10.製品保証規定

(1)保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証いたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 e t c)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

このホイールバランスは屋外設置及び防水使用にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

(2)保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社 名 担当者
	住 所 電 話
設 置 業 者	社 名 担当者
	住 所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 ダイナマックス ホイールバルンサー

型 式 **7051WAS型**

初版発行月日	平成 11 年 8 月 1 日
--------	-----------------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------------------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------------------

改訂発行月日	平成 年 月 日
--------	----------------------

編集兼発行者	機 工 技 術 部
--------	-----------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
-----	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。



小野谷機工株式会社

本社／福井県武生市家久町63-1 ☎(0778)22-2124代

営業所／札幌	☎(011)784-1080	新潟	☎(025)281-8251
仙台	☎(022)255-7408	名古屋	☎(052)354-1021
秋田	☎(0188)64-7875	大阪	☎(06)6727-8505
東京	☎(03)3975-2001	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。